北九州市立則松中学校

【学校ホームページアドレス】
www.kita9.ed.jp/norimatsu-j

ジャガイモ

校長通信　№.２５２

令和５年　４月２１日

「　芋洗い①～入学式編～　」

校長　江　口　　満

4月11日（火）第49回入学式。誓いの言葉で、「中学校は新しい友達や新しい先生方、先輩方との出会いの場です。そして小学校の頃とは違い、部活動や生徒会活動など多くの人と協力し、活動していくことが増えていくと思います。分からないことや難しいことばかりの新しい環境の中で、悩んだりつまずいたりすることがあるでしょう。そのような時には、先生方や先輩方の教えをいただき、友達と励まし、支え合いながら、さまざまな困難を共に乗り越えていきます。」と宣言する新入生代表Ｙさん。

則松中学校区の春の息吹。冬の間、モノクロでくすんでいた世界が、桜の開花と同時に、一気に彩色が施されます。それぞれの植物が自己主張し、土や水の香りとまじりあって、空気そのものが甘くなります。そのような中、4月11日（火）、ＰＴＡ会長の福田様、並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、本校第４９回入学式を執り行いました。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。今から三年間、大切なお子様をお預かりすることになりました。子供たちは色々なことに興味を持つ年齢になって参りますが、お子様の発達段階に応じて、子どもの話をじっくり聞くこと、子どもによく話しかけること、親子で話し合うことが重要です。また、子どもの自立を促し、手放しつつ見守ることも大切です。本校職員、３５名全員、力を合わせてお子様の教育に当たって参りますので、よろしくお願い申し上げます。

入学式当日、新入生が体育館に入場する際などに、「春の小川」「ちょうちょ」「さくら」を演奏し、入学式に華を添えてくれた二、三年箏曲部の皆さん

新入生、１３２名の皆さん、入学おめでとうございます。いよいよ皆さんの中学校生活がスタートしました。皆さんの輝く瞳からは、中学生になったという誇りと、これからの生活への希望と決意が伝わってきます。

三月に入り、私は、この春の陽気に誘われて、カメラを片手に、校区内を歩いてみました。すると、咲き誇る花々に圧倒されました。これらの風景は、「一朝一夕」で作られた訳ではありません。地域の方々が、丹精込め、長い年月をかけ育て、じっくりと守ってこられたからこその風景です。

また、その花々の背景には、皿倉山から尺岳、福智山へと続く山並みが堂々と横たわっています。この山並みは、私たちの「心の原風景」であるような気がします。則松中学校区には、このような名所が、随所にあります。

入学式に当たり、私は、「芋洗い」をもとにしてお話しました。

私は、入学式の時期になると、大村はま先生の「心の中に、百のお話を」という言葉を思い出します。大村はま先生は、子どもに本当のことばの力をつけさせるために生涯、国語教師をつらぬかれた方です。７４歳で退職され、その後、執筆や講演で国語教育や教師について語り続けてこられました。【次号に続く】

暖かい春の陽光の中、登校する新入生の皆さん。クラス発表と保護者受付の様子。新入生の希望と決意が伝わってきます。

「みんなを笑顔に」　１年１組　Ｋさん

ぼく達は、桜が葉桜になったころに、この則松中学校へと入学した。中学生になると、部活動や生徒会などが始まり、学校生活が大きく変わってきた。なので次のことをがんばりたい。

部活動では、担当の先生や先輩の教えをいただき、懸命にがんばっていきたい。生徒会活動にも積極的に参加して、則中を支えていきたい。その中でも則中で上吹越という名が残るような立派な生徒になりたい。

学校生活でがんばりたいことは、もちろん同学年とも仲を深めていきたいし、先輩との関わりや中も深めていきたい。新しい学校に入って先生や則中の建物の構造なども大きく変わったので、しっかり覚えていきたい。月曜日には2時間目と3時間目が続けて移動教室なので、そのことを考えて効率の良い手段を選んで、みんなのために迷惑をかけないようにがんばっていきたい。

ぼくが目指している目標はみんなを笑顔にして、部活動や学校生活でも礼儀正しく学校を支えていけるように、学校だけではなく家や普段の生活でもがんばっていきたい。

「行事をめいっぱい楽しむ」　１年１組　Ｓさん

楽しい笑い声が聞こえてくる。そう、私は行事が大好きです。普段の学校生活とはとびっきり違う生活を送ることができるからです。一年生ではふれあい合宿があり、楽しみで仕方ないぐらいです。それだけでなく、みんなとチーム力を高める体育祭や、みんなと楽しむ文化祭などもあり、とっても楽しみです。小学校とは行事の数も異なるということを知りました。楽しい行事ばかりではなく、テストの季節もやってくるので、楽しむだけではなくがんばることもしっかり取り組んで行こうと思います。

最後には別れの行事、卒業式もあるので感情を変えること、メリハリも大事だなと思います。行事が盛りだくさんの則松中学校の一員として、みんなや二、三年生の先輩といっしょに行事を楽しんで、思い出をつくっていこうと思います。テストでも全力をつくしてがんばっていきたいです。行事をめいっぱい楽しみます。

「あともう一歩なのに」　１年３組　Ｓさん

私は小学校一年生からずっと泣き虫で、人見知りで…。友達がなかなかできませんでした。そして決心し、「中学では進化して、ちゃんと言いたいこと(伝えたいこと)を言えるようになるんだ！」と思っていたものの…。「おはよう」と声をかけようと思うが、こんな自分が急に話しかけたら、「何、こいつ…」と思われるかもしれない…。結局、「やめとこう」と勝手にあきらめてしまい、六年生でやった言いたいことを伝えられたのに、逆もどりになってしまい、親友とも別れ…。悲しい…。

だけど中学生になって、「逃げるという選択はしない！」「みんなはやさしく声をかけてくれるけど、みんなだってこわいんだ！」と言い聞かせて、声をかけてみようと思います！勇気をだして一歩をふみ出せば、また次の壁が出てくると思うので、友達といっしょにがんばろうと思います。これからがんばるので、みんな！よろしくね！

「三年後の君へ」　１年３組　Ｏさん

ぼくは中学生になって、社会の成り立ちや人々の感じ方を勉強などから知りたいです。まずぼくのなりたい職業は、競馬に出る馬を育てる仕事です。そのためには中学を卒業して、三年間その学校で暮らすことになります。つまり親もとを出るということになるということです。そのためにはもちろん仲間たちと暮らして、協力が欠かせません。そこで今のうちに、人々の感じ方やお金の使い方を学びたいのです。

中学校の中でまだまだ知らないことは多いですが、この生活の新しい楽しさを見つけ、友だちも作っていきたいです。そして、友だちの名前を覚えて、いつ中学校生活を終えてもいいように生きたいです。また友だちのサポートし、困っている時にはしっかりとつきあい、社会の勉強をしていきたいです。

入学式後、1年1組と1年3組の学級開きの様子